

豊庄だより



第 728 号 2022 年 10 月 15 日

10 月の誕生者は 11 人でした。今回もコロナウィルス感染対策のため、ばら、ゆり、ひまわり組の第 1 部(7 人)と、もも、さくら、すみれ組の第 2 部(4 人)と分けて行いました。プログラムは、誕生者の紹介、メダル渡し、園長の話、保育士の出し物。密を避け、換気も行き届き、リスク対策は万全なのですが、コロナ禍の前まで行っていた誕生会とは雲泥の差です。どのクラスもステージに上がり、歌を歌っていました。今、その時と同じプログラムができるだろうかと思えます。コロナ禍の前を経験している子どもたちは少しはいいかもしれませんが、それでも心配です。子ども以上に、職員も未経験者が増えてきています。

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達

年度初めの 4 月誕生会は、ステージの上で大泣きをする子が出ます。しかし、5 月、6 月と次第にその姿が変わっていきます。そして、7 月の七夕会で歌と合奏の発表をしていました。保護者を含めた多くの観客を前に堂々としたものでした。そこでは泣く子はほとんどいなかったと記憶しています。

コロナ感染の現状が好転しない限り、この状態は続きますが、子どもたちの成長にとって大切なものが身につけていないのではと懸念しています。

誕生会の話題に戻します。終了後、久しぶりに懇談会をすることができました。時間短縮のため、「今、困っていること」を書いてもらっていました。

今、困っていること、悩んでいること(10 月誕生会)

▼自宅では偏食が強く、野菜類をほとんど食べません。(さくら組)▼怒ると物を投げるのがなかなか治りません。怒ってもへらへら笑って、反省しません。(すみれ組)▼便をなかなかトイレでできません。寝る時の指しゃぶり。自宅では野菜を食べません。(ばら組)▼指しゃぶりを今も寝る前にすることくらいです。(ばら組)▼きょうだいが多く、一人ひとりに関わる時間が短いからか、もしくは兄の真似か、物を投げたり、たたいたりすることがよくあります。(ゆり組)▼なかなか寝ないこと。(ひまわり組)



10 月誕生会 (懇談会)

第 1 部に参加された(以上児の)保護者の方で、第 2 部が終わるまで待機し、懇談会に参加して下さった方もいました。夜なかなか寝ない子に、どのように接してきたか、自分の子も指しゃぶりをしていたこと、どのように乗り越えたか、ベテランのお母さんの体験談は、参考になることがたくさんありました。コロナ禍の前は、2 部にわかれてなく、誕生者の保護者全員で意見交換をしていました。また、毎年 6 月の保育参観の時、「我が家の子育て奮闘記を語ろう会」を行っていたこともふと思い出しました。コロナ禍の収束を望みます。